

第14回「書評カフェ」を開催します！

■第14回「書評カフェ」で取り上げる本は、村上春樹の『眠り』（文春文庫『TVピープル』収録）です。

TVピープル 村上春樹



ある日突然、一睡もできなくなった「私」は、戸惑いながらもその現実を受け入れます。

眠らなくなってから「私」は、自分の人生が拡大されていると感じ始めます。「私」は思います。眠りが、個人のパターン化された思考と行動～個人的傾向～の偏りを調整するためにあるのだとしたら、眠りなど必要ない、と。「私」にとって、個人的傾向とは、無感動に機械的に続けている家事作業でした。目をつぶってでもできる、ボタンを押してレバーを引っ張れば流れていく現実…。「私」の前には、果てしなく覚醒した暗闇が見え始めます。

私達が無意識に過ごしている日常または行動について、ちょっと立ち止まって考えてみませんか。

（文責：三野宮幸恵）

■書評カフェは、単なる扱う本の感想やその著書の作家論を述べ合うだけではありません。本を読んだ感想をもとに、そこから浮き上がってくるテーマを参加者どうしで探り当て、〈対話〉をとおして、そのテーマに対する自分自身の考えを逞しくしていくことを目的としています（とはいえ、難しい会ではありません）。みなさま、お気軽にお越しください。

■第14回書評カフェ■ 評者：三野宮 幸恵

日時：2014年9月21日（日曜日）15:00～17:00 定員：9名

場所：カフェドギャルソン（仙台市青葉区国分町3-2-2 おいかわビル 2F）

取り扱う本：村上春樹 著／『眠り』（文春文庫『TVピープル』収録）

申し込み・問い合わせ先：E-mail cocomo098@yahoo.co.jp（三神まで）

<http://tetsugaku.masa-mune.jp/index.html>（てつがくカフェ@せんだい HP）

■お知らせ■ 〈3.11以降〉読書会「震災を読み解くために」始動しました！みなさんと〈読みの力〉を共有したいと考えています。現在、『社会を変えるには』（小熊英二）を読んでいます。興味のある方は是非、綿引（philcfsendaiaiw@gmail.com）までご連絡ください。